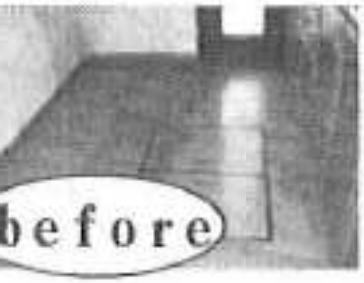
短工期、低コストの床リフォーム工法本格稼働

既存の床上に独自開発の床材を敷設

ナオス・テック

ナオス・テック（宮城県仙台市）平間圭二社長(59)

ナオス・テック（宮城県仙台市）は4月から床材のリフォーム工法「Naoss（ナオス）システム」を本格稼働した。同工法は、2年半かけ、大手建材メーカーと共同で開発。短工期、低コストの床のリフォーム工法が特徴だ。特殊加工した上張り用フローリング材をもとある床に張り、特殊な接着剤で施工していくが厚さは3㎜と薄く、建具調整不要。また、特殊な幅木を利用しており、幅木の撤去もいらない。



キッチンの施工現場

貸住宅のワンルームの部屋の場合、通常3日ほどかかる床の施工期間は1日で全面の床の張り替えが完了する短工期だ。また、使用する床材は、特殊建材を利用し、低価格で提供ができる。もとある床の上に床材を敷いて施工するため、廃材がほぼ発生しないので、工事原価を圧縮できる。

さまざまなフロアに施工できるのも特徴の一つ。在来工法や二重床、クッションフロア以外の集合住宅で多様されてきた直貼り（遮音性）フロアにも施工可能だ。直貼りフロアの上から施工可能なフローリングは業界でも珍しいという。

さらに健康へも配慮しどの資材から放散される化学物質により健康に影響を及ぼさないよう、VOC（シックハウス原因物質）試験も行っている。

リビングの施工現場

従来このような上張り工法では、ウレタン接着剤や両面テープを利用することが多い。そのため、はがして張りなおすことは難しかった。しかし、同工法では、建材構造や接着剤をはじめとした特再度の張り替えに対応することができる。さらに部分的に張り替えることも可能。貸住宅などで入退去時に傷んだ箇所だけ張り直すこともできる、メンテナンス費用を低減できる。実際に施工したオーナーからも好評だという。

全国展開を視野に入れており、FC加盟店を積